

平成二十九年七月の作品（七月十四日（金））（第五三回）

（文京シビックセンター5階D会議室）

人を待つごとと山百合も鬼百合も（一江）

生きまむし蝮まむし売る山国の土産店（清助）

駅前まへに枝広々と合歡の花（隆治）

墨が香や画仙紙ま拵まげ夏座敷（孝昭）

梅雨雲つばくろの燕岳鬼が座すやうに（前歩）

陸羽線妻と降り立つ青田かな（貴美）

夏草のひとときばかりビル跡地（平六）

夏の雨東京砂漠匂ひ立つ（正雄）

熱気沸く尾張名古屋の夏相撲（正佳）

高校野球われを忘れし炎天下（由美）